

“神の実”ガマズミ

春に白い花を咲かせていた「ガマズミ」。名前の由来は、「神ツ実」「神の実」などが転訛してガマズミとなったようです。陶史の森では、あちらこちらに見られます。

白い花（写真上）が、9～10月には赤い実（写真下）を付けます。ガマズミの実は一粒は小さいですが、濃紅色で華やかさがあって人目を引く美しさがあります。このことから「私を無視しないで」「愛は強し」「恋の焦り」という花言葉が付けられました。ちょっと意味深ですね。

この赤い実は秋頃はまだ甘味が少なく渋みと酸味が強いので食べにくいですが、晩秋から初冬にかけては表面に白っぽい粉を吹いて甘くなり、そのまま食べられるようになります。また、ポリフェノール、ビタミンC、カリウム、りんご酸が豊富に含まれているため、血液をさらさらにする効果や高血圧・動脈硬化の予防、さらには美肌・疲労回復の効果もあるそうです。東北地方の狩人たちの間では、疲労回復の薬として古くから大切に扱われてきたようです。

近年ではガマズミのジュースも販売され、他にも果実酒や漬け物の着色料としても利用されているようです。

「神の実」はすごいですね!!



森の日記

華麗なる天体ショー

7月21日(土)

第1回天体教室を開催しました。今回は、幸運にも月と金星・木星・土星が同じ夜空で観察できました。講師の先生の天体望遠鏡をのぞくと、月のクレーターや海もはっきり観察できました。

夜8時を過ぎる頃、周囲は月明かりのみ。いよいよメインイベントである木星と土星の観察です。天体望遠鏡から木星の横しまや土星の輪がはっきり確認でき、まさに気分は宇宙飛行士。

次回は火星の観察をする予定です。火のように赤く見えるのでしょうか。皆さん、秋のロマンティックなひとときを一緒に過ごしましょう。



教室のご案内

9月

草木染め教室（要申込・定員20人）

9月16日(日) 午前9時～11時30分
草や木を煮出して白い布を染めます。

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

9月23日(日・祝) 午前9時～11時30分
初秋の野鳥を観察します。

「陶史の森まつり」は9月8日(土)に開催します(雨天時は9日に順延)。

10月

きのこ教室（要申込・定員50人）

10月14日(日) 午前9時～11時30分
陶史の森に生えるキノコを観察します。

天体教室（要申込・定員20人、雨天中止）

10月20日(土) 午後6時30分～8時
火星など、秋の天体を観察します。

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）

21日(日) 午前9時～11時30分
秋の野鳥を観察します。

※第2駐車場に集合してください。

ネイチャーセンターでは、双眼鏡や野鳥図鑑の貸し出しをしています。気軽に声を掛けてください。

